

日本コミュニケーション学会 第29回九州支部大会

# 恋愛における「自律的出会い」に 焦点を当てた探索的調査

— 恋活・婚活に利用されるツールとコミュニケーションの関係 —

---

愛知淑徳大学 友池梨紗

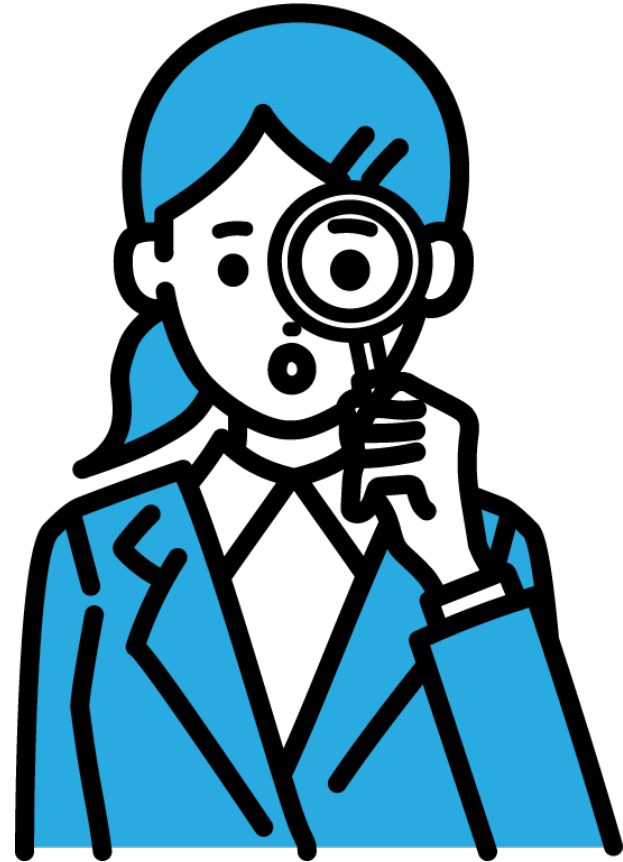
\*本研究は、愛知淑徳大学「特定課題研究」の助成金を受けて実施した

# 研究背景（問題提起）

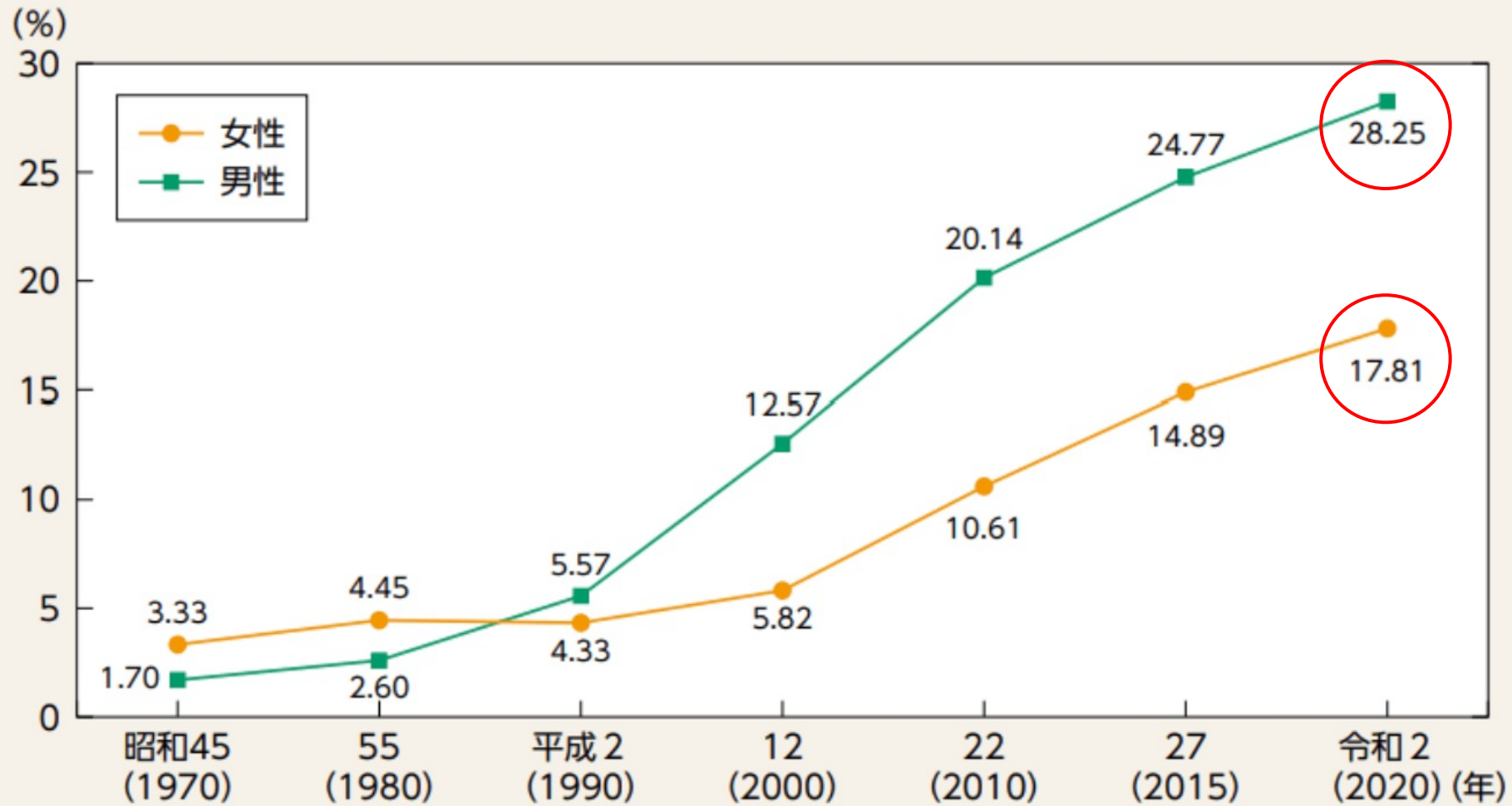
---

## 【非婚化による少子高齢化】

- 「出会いの経路」の縮小
- 若者の恋愛離れ
  - 恋愛の「嗜好化」
  - 好意対象の多様化



## 特-4図 50歳時の未婚割合



- (備考) 1. 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集 (2022)」より作成。  
2. 「50歳時の未婚割合」とは、45～49歳の未婚割合と50～54歳の未婚割合の平均値。  
3. 平成27 (2015) 年と令和2 (2020) 年は、配偶関係不詳補完結果に基づく値。

# 結婚していない理由

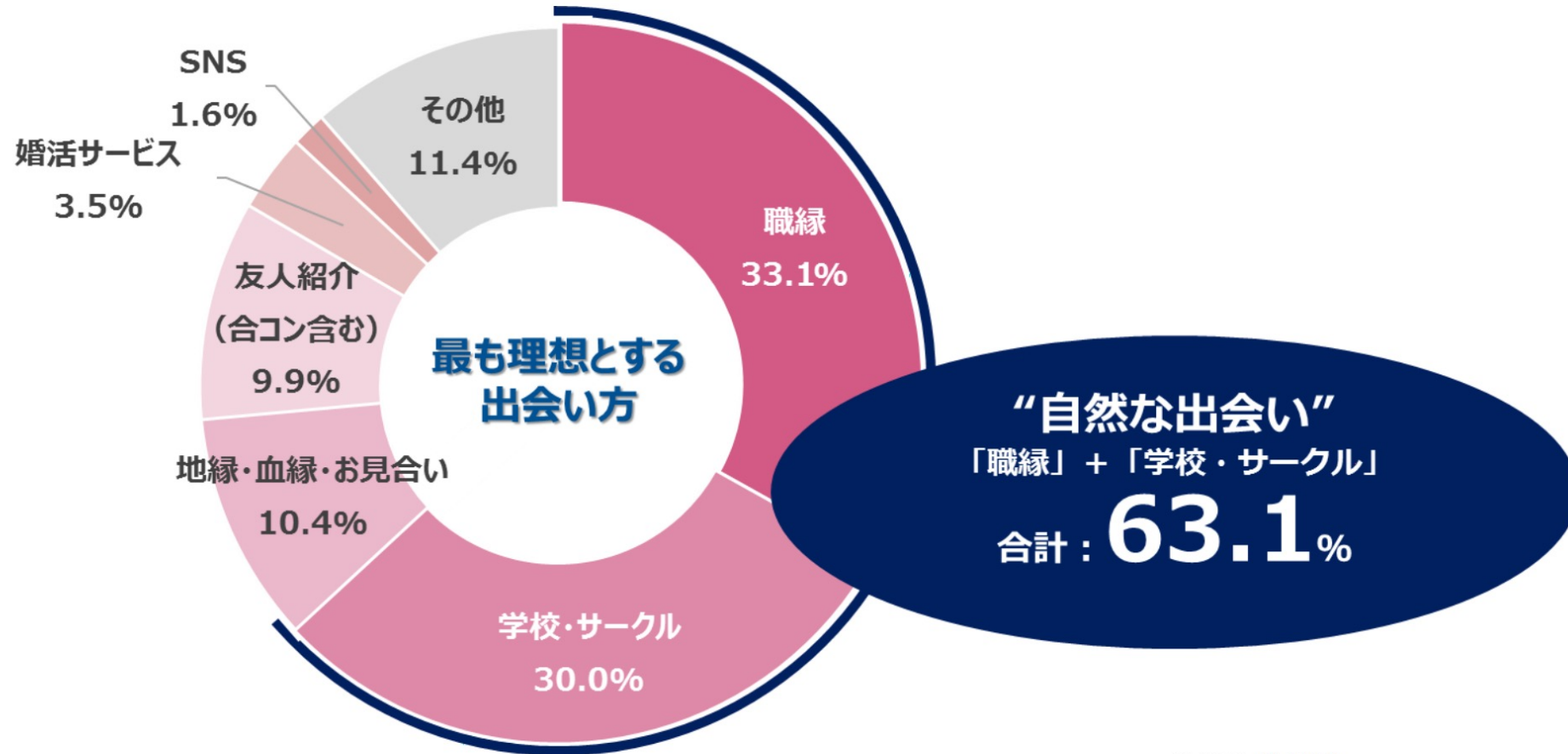
(結婚経験のない者のうち結婚意向のある者)

		全体	男性	女性
1位	適当な相手にめぐりあわない	46.8%	45.4%	48.7%
2位	結婚資金が足りない	26.6%	32.7%	18.7%
3位	異性とうまくつきあえない	24.0%	26.4%	21.0%
4位	自由さや気楽さを失いたくない	23.6%	22.4%	25.2%





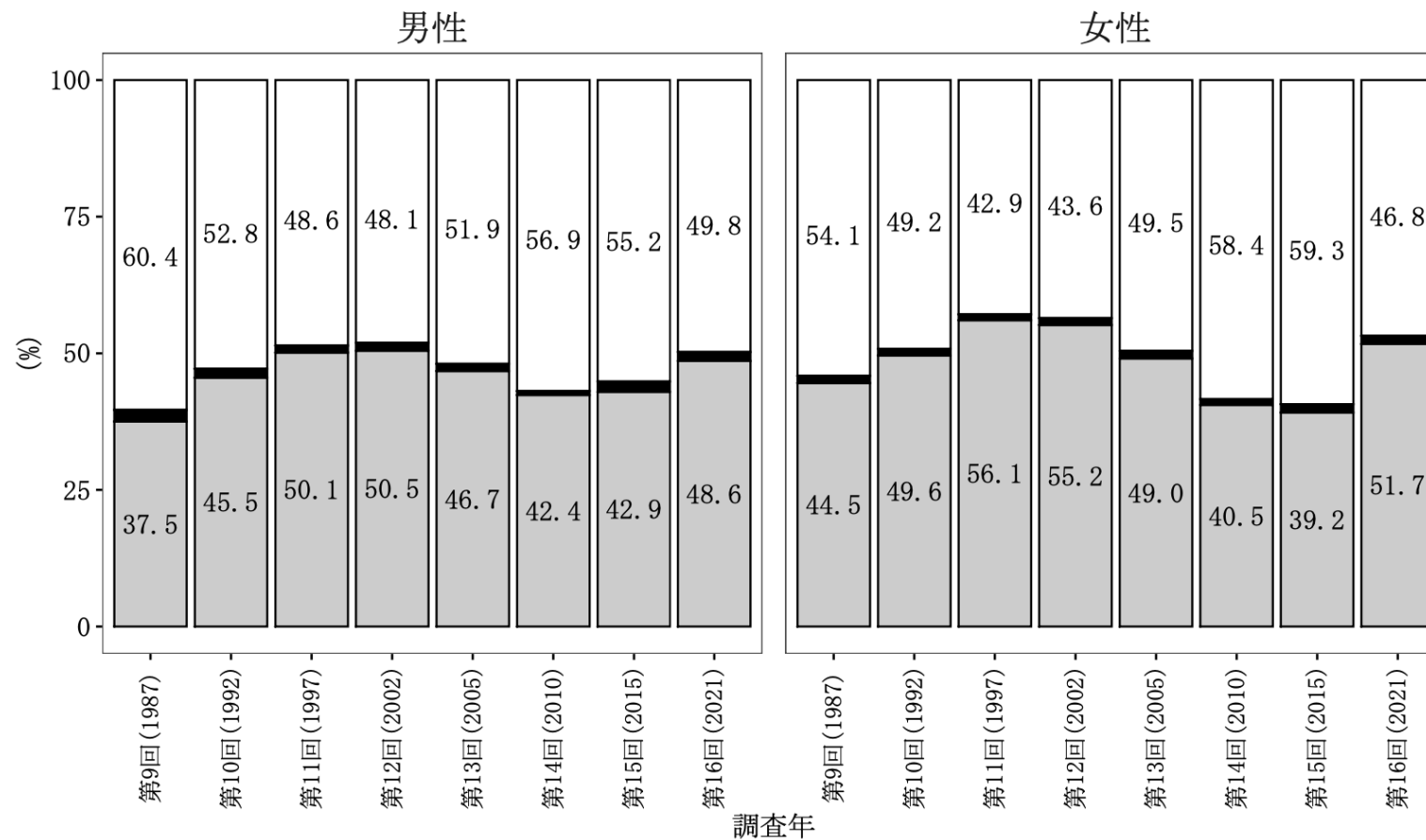
# 理想は「自然な出会い」



N:4200 (未婚者)

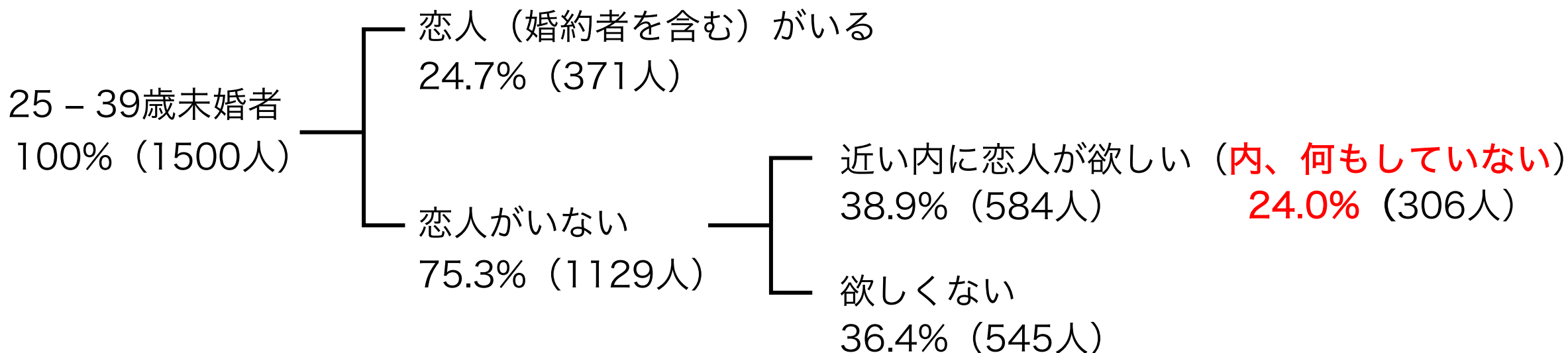
「恋愛・結婚調査2017」(リクルートブライダル総研)より

# 結婚意思をもつ未婚者の結婚に対する考え方 (年齢か理想的な相手か)



- ある程度の年齢までには結婚するつもり
- 不詳
- 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない

# 未婚者の恋愛行動（西村, 2014）



## 第1の理由

1位 趣味や自分の時間が大切（136人）

2位 お金がないから（93人）

3位 恋愛が面倒だから（86人）



# 恋愛の嗜好品化と恋愛対象の多様化



あってもなくてもよい

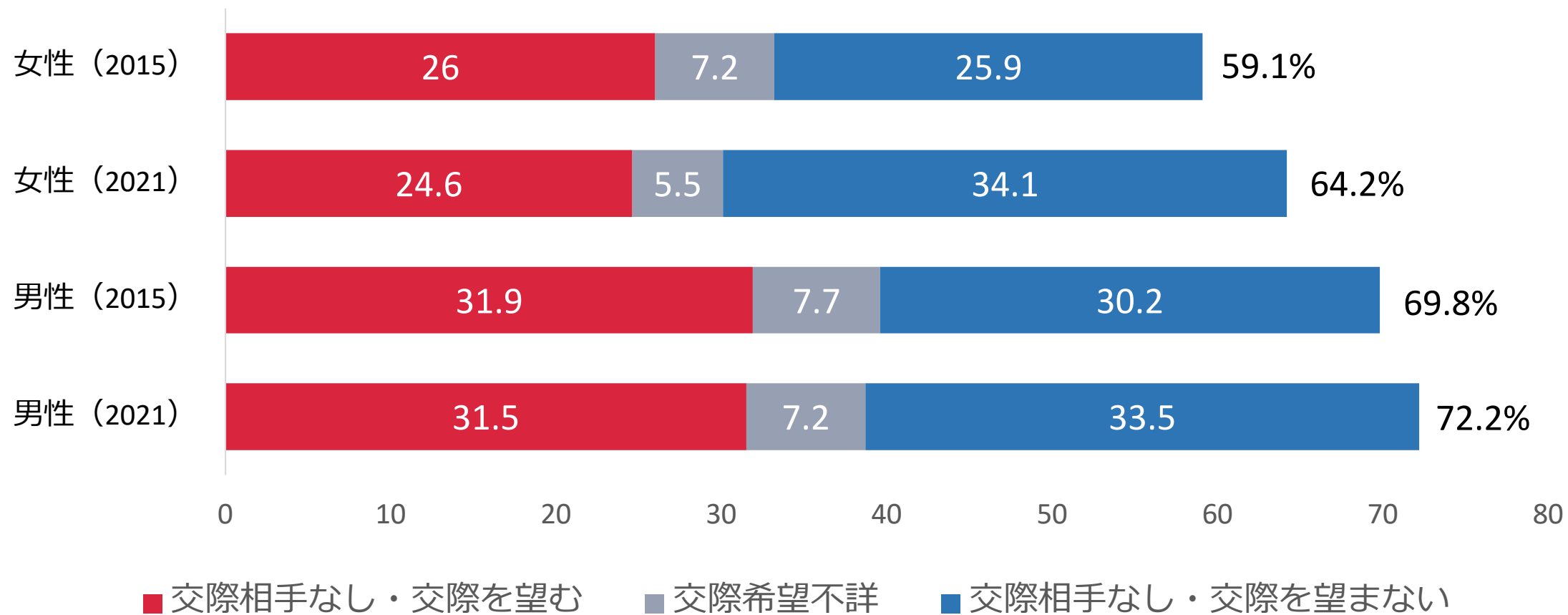
「嗜好品」 (谷本, 2008)



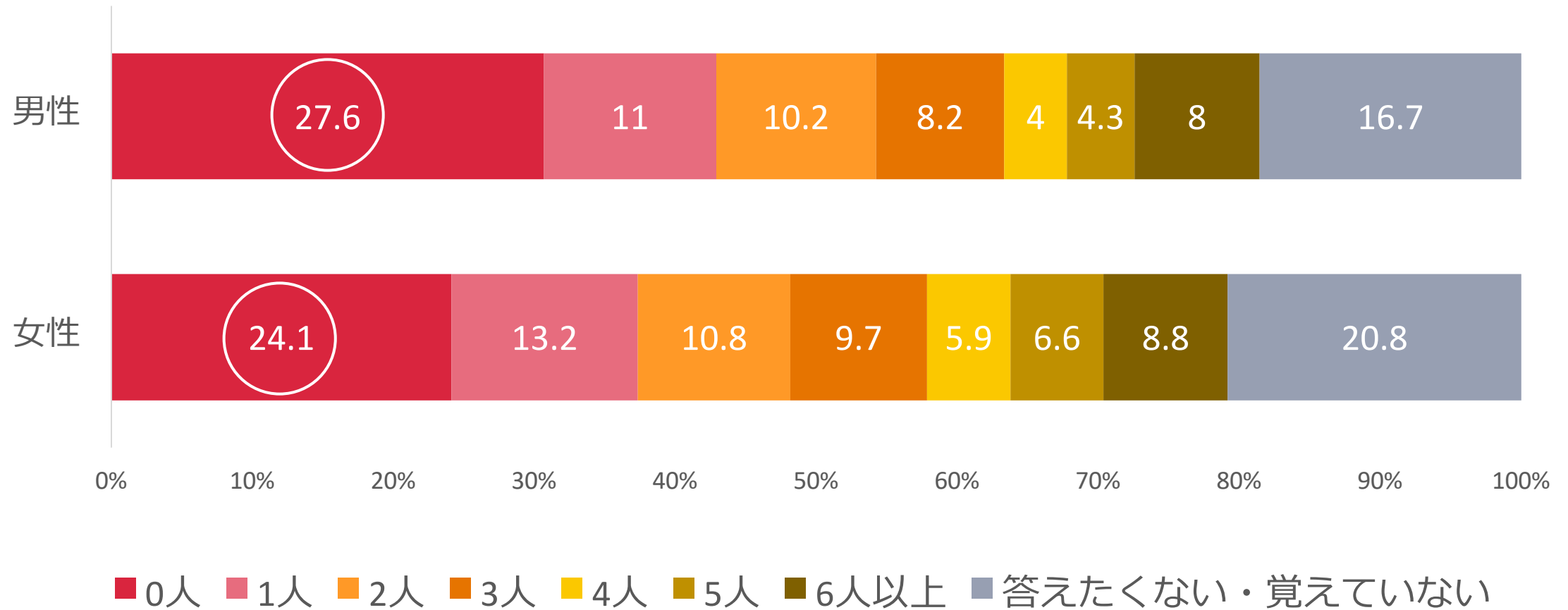
恋愛対象が**多様化** (Yamada, 2017)

(アイドルやキャラクター)

# 交際相手\*をもたない未婚者の割合と交際の希望 (\*異性の友人／恋人、婚約者)



# これまでの恋人の人数（独身,20-39歳）



	出会いの場所	出会いの型
1	コミュニティ内	自然型
2	街なか, 店	偶発型
3	街コン, 合コン	グループ交際型
4	マッチングアプリ	マッチング型
5	紹介	仲介依頼型

# 交際目的で出会いましたか？



NO

## 偶発的出会い

- 自然型
- 偶発型

YES



## 自律的出会い

- グループ交際型
- マッチング型
- 仲介依頼型

	偶発的出会い	自律的出会い
型	自然・偶発	グループ交際・ マッチング・仲介依頼
1. 経路探索	不要	必要
2. ツール活用	なし	あり
3. 印象形成	日々のコミュニケーション	相互の値踏み
4. 他の異性交際	特になし	複数の相手と同時進行
5. 進展速度	比較的遅い	比較的早い
6. 交際前の関係	友人・知人など	ラベリング困難
7. 告白の役割	イベント的	儀礼的
8. 告白成立時	関係の基盤あり	お試し交際
9. 告白不成立時	元の関係に戻るかも	完全な離縁



「~~出会いがない~~」 → 「**出会いが複雑化している**」

出会い方で「出会い」への意味付けが異なる

偶発的出会い：単に同じコミュニティの人との出会い

→ きっかけがあれば仲良くなるかもしれない

自律的出会い：恋人になるかもしれない人との出会い

→ 交際を意識した上で効率的に相手を探そうとする

# タメニー株式会社との共同研究

「自律的出会い」に焦点を当てた研究

愛知淑徳大学 友池梨紗助教と共同研究を開始

～交際を目的に出会った男女の関係発展を促進・妨害するコミュニケーション的要素の研究～

タメニー株式会社

2021年9月16日 10時30分

0



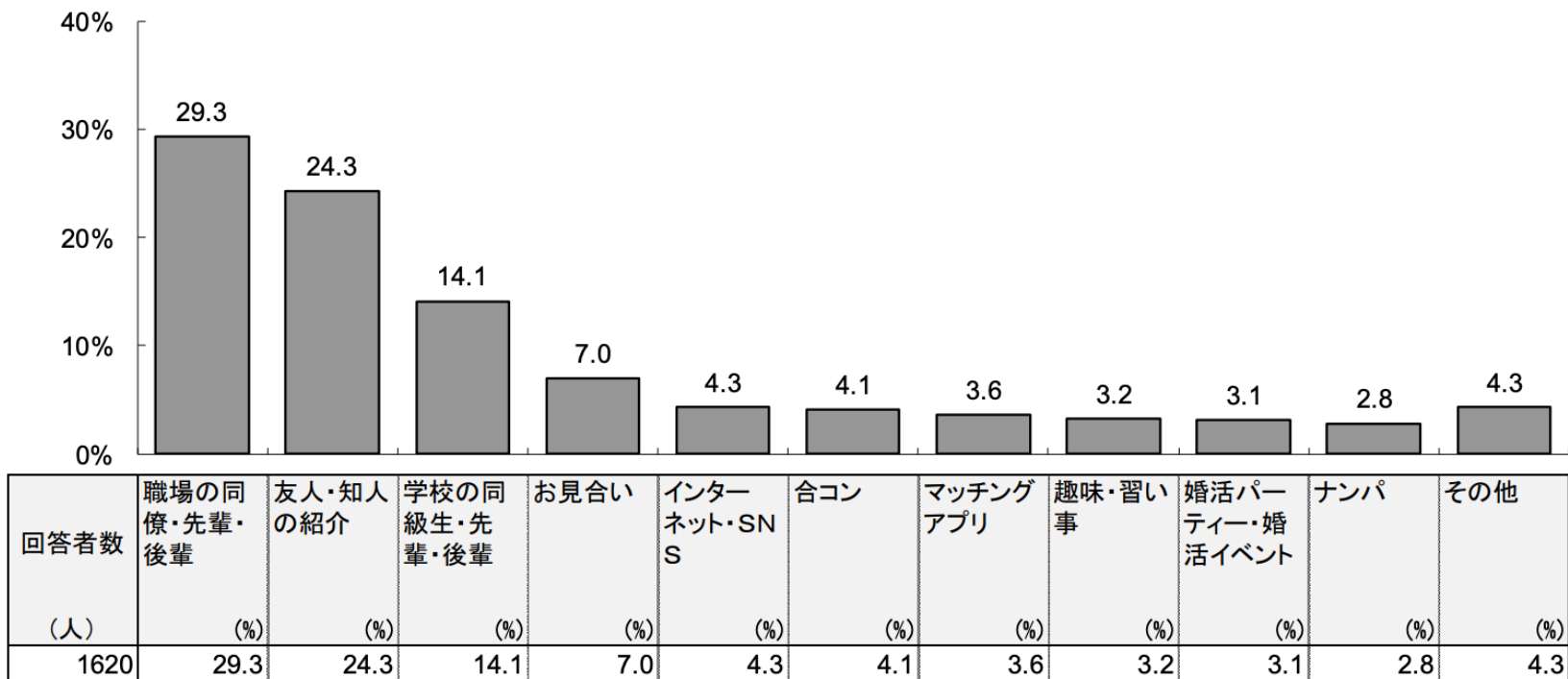
タメニー株式会社（本社:東京都品川区、代表取締役社長:佐藤茂、証券コード：東証マザーズ6181）が運営する結婚相談所「パートナーエージェント」は、愛知淑徳大学グローバル・コミュニケーション学部友池梨紗助教と、「交際を目的に出会った男女の関係発展を促進・妨害するコミュニケーション的要素の研究」について、共同研究を開始いたしますのでお知らせいたします。

# 結婚する気持ちになるような状況

(結婚経験のない者のうち結婚意向のある者)

		全体	男性	女性
1位	経済的に 余裕ができること	42.4%	46.7%	36.8%
2位	<b>異性と知り合う(出会う) 機会があること</b>	36.1%	33.9%	<b>38.9%</b>
3位	精神的に 余裕ができること	30.6%	29.2%	32.3%
4位	<b>希望の条件を満たす相手に めぐり会うこと</b>	30.5%	26.1%	<b>36.2%</b>

## Q. 夫婦の出会いのきっかけは何ですか（単独回答）



### ■ 「マッチングアプリ」で出会った人 結婚した年別比較

結婚した年	割合
～2009年	0.0%
2010年～2014年	2.4%
2015年～2019年	6.6%
2020年～2022年	18.8%

結婚した年	割合
2020年	17.9%
2021年	16.9%
2022年	22.6%

特にコロナ禍  
以降に増加！

# 「自律的出会い」への着目

1. 「自律的出会い」で選択するツール（マッチングアプリ、紹介、結婚相談所の利用など）によって二者間のコミュニケーション内容に変化は見られるのか。
2. 二人の間を取り持つ仲介者がいる場合、その人はどのような役割を果たすのか。
3. 交際を目的として出会った男女が最終的に交際に行き着くためにはどのようなコミュニケーション的要素が必要なのか。

# 事前調査（インタビュー）

出会い	性	年	職業	インタビュー実施時期
紹介	女	25	会社員	2019年8月～9月
	女	26	休職中	
	女	24	ホテルコンシェルジュ	
	男	25	大学職員	
	女	23	会社員	2020年6月～9月
マッチング アプリ	女	32	会社員	2019年8月～9月
	女	28	薬剤師	2020年6月～9月
	女	31	看護師	
	女	30	病院受付	
結婚相談所	女	31	薬剤師	2021年6月
	男	29	会社員	
	男	37	会社員	



# リサーチクエスチョン (ツール選択に関して)

1. 人はどのようにツールを選択しているのか。
2. 経路探索の間（「出会いの経路」にたどり着くまで）に行われる周囲の人とのコミュニケーションはツール選択にどのような影響を及ぼすのか。
3. 自律的出会いでも人によって合うツール・合わないツールがあるのだろうか。あるとすれば、人はどのようにして選択していけば良いのか。

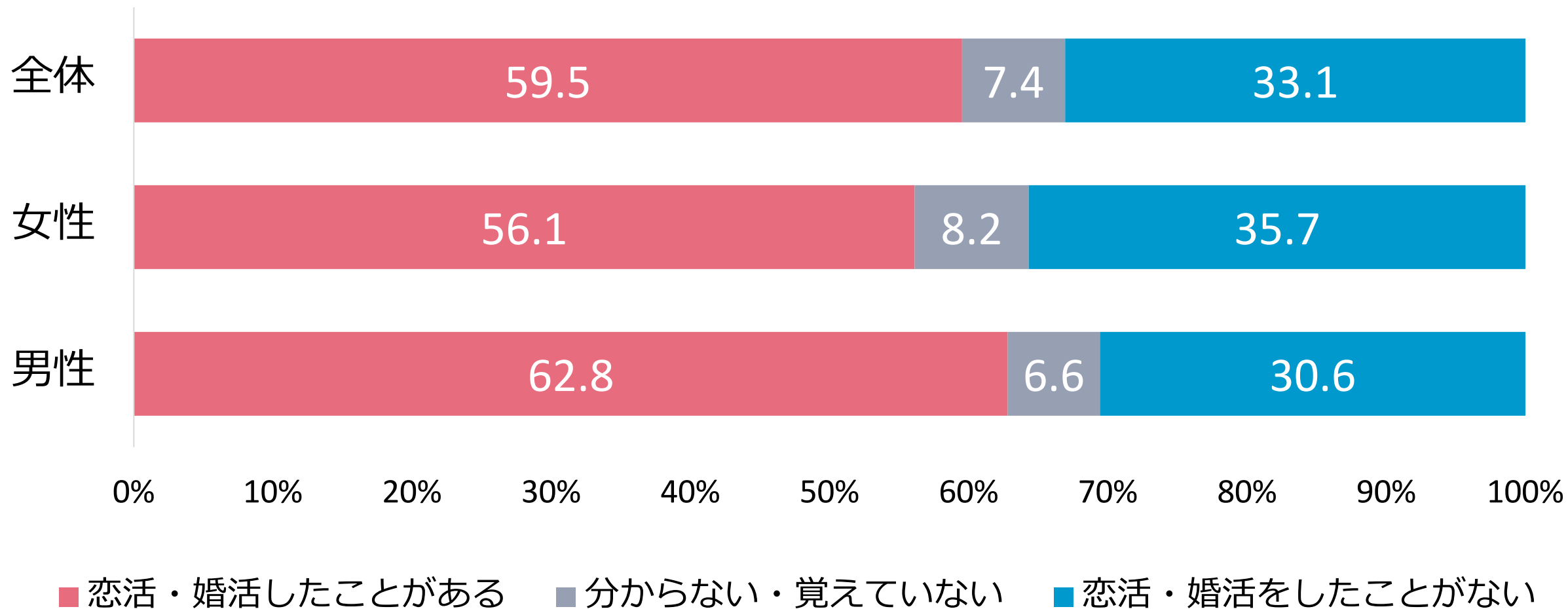
# 本調査：経路探求およびツール選択に関する調査

- 実施期間：2022年8月上旬
- 実施方法：アンケート（20～40代男女1,312人）
- 質問内容（一部抜粋）：
  - 初めて利用した恋活・婚活ツールと当時の年齢
  - 恋活・婚活ツールを使うに至った動機・いきさつ
  - 当時求めていた交際の形
  - 自分に合っていた・合わなかったと思うツールとその理由

# 恋活・婚活をしたことがありますか (n=1,312人)

恋活・婚活経験あり (781名)

恋活・婚活経験なし



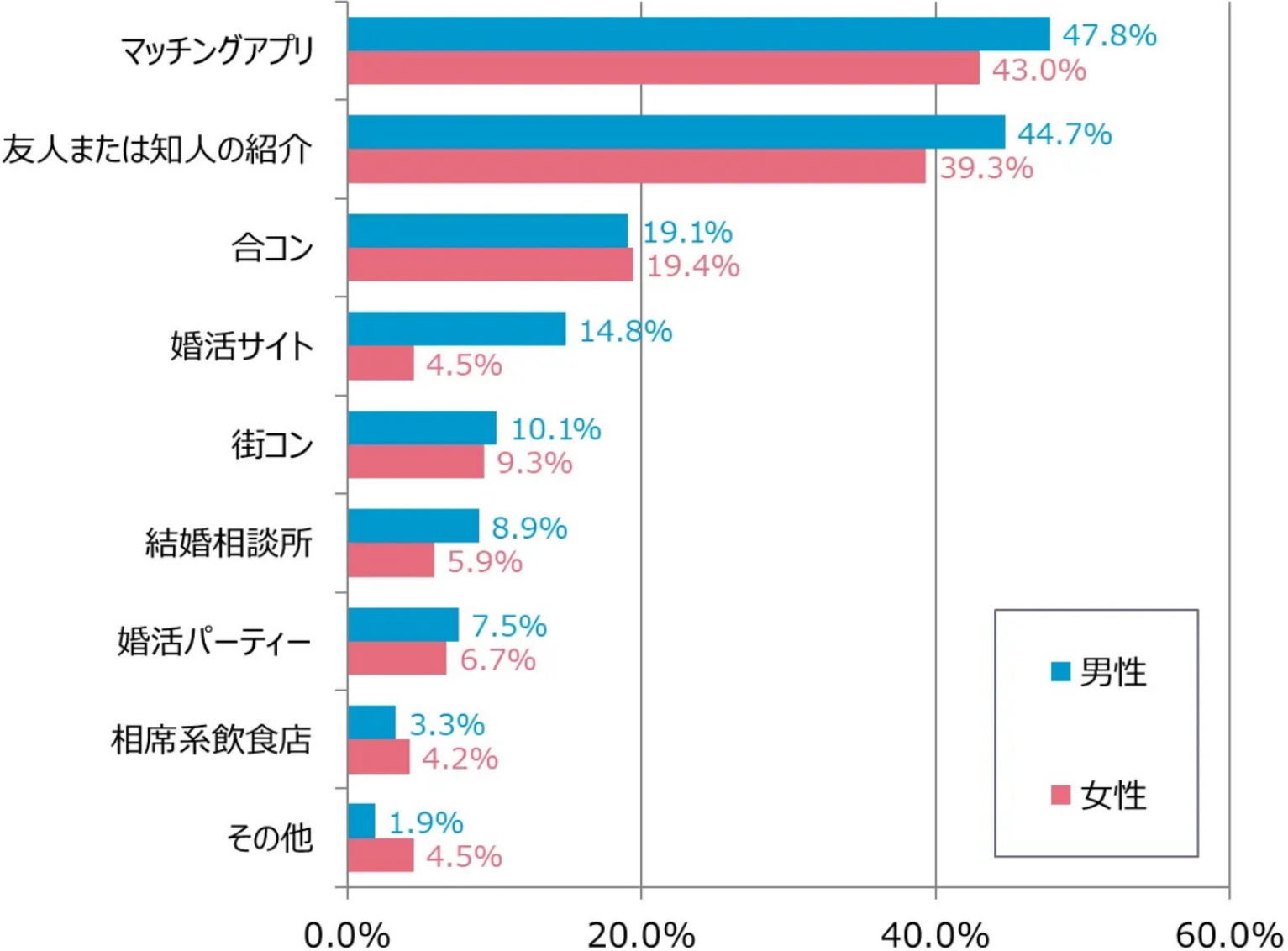
# 分析対象・分析内容

対象：異性愛者かつ恋活・婚活ツール利用経験者 781名

内容：

- 初めて恋活・婚活ツールを利用した年齢
- 恋活・婚活ツールの利用に至ったきっかけ
- 恋活・婚活ツール利用前の周囲との会話
- 恋活・婚活ツール利用に関する男女差
- 合っていたツール・合わなかったツールとその理由 など

# はじめて利用した恋活・婚活ツール (n=781) \*複数回答可



# 1. 初めてツールを活用した年齢 (n=662)

年齢	全体	紹介	アプリ	婚活 サイト	相談所	街コン	婚活 パーティー	合コン	相席屋	そのほか
<b>18</b>	<b>49 (4)</b>	<b>24</b>	14	1	2	3	1	17	0	2
19	31	<b>16</b>	12	2	3	3	2	9	1	1
<b>20</b>	<b>88 (1)</b>	<b>46</b>	<b>37</b>	7	6	11	4	19	2	2
21	37	<b>19</b>	17	2	0	1	1	7	2	0
<b>22</b>	<b>51 (3)</b>	13	<b>25</b>	6	5	5	1	9	0	3
23	41	17	<b>24</b>	5	1	8	3	9	4	1
24	45	15	<b>31</b>	1	3	5	2	4	1	0
<b>25</b>	<b>79 (2)</b>	<b>30</b>	<b>44</b>	16	6	10	7	14	6	1
26	26	8	<b>11</b>	1	1	4	4	2	0	0
27	25	8	<b>11</b>	3	1	1	3	4	1	1
<b>28</b>	<b>41</b>	15	<b>24</b>	5	3	1	5	8	0	0
29	17	6	6	1	2	3	2	0	0	0
<b>30</b>	<b>36</b>	15	13	6	6	4	4	8	2	0
31	5	<b>1</b>	3	0	1	0	1	0	0	0
32	13	<b>2</b>	7	3	4	3	3	1	1	0
<b>35</b>	<b>17</b>	<b>4</b>	10	2	3	1	1	3	0	0



## 2. きっかけ (n=261)

- ① **周囲の交際状況** (43人, 平均年齢25.0歳)
- ② **年齢**の意識 (34人, 平均年齢26.3歳)
- ③ **恋人との別れ** (33人, 平均年齢24.2歳)
- ④ 出会いの少なさ (27人, 平均年齢24.7歳)
- ⑤ **友人からの誘い** (21人, 平均年齢23.5歳)
- ⑥ 恋人欲しさ (19人, 平均年齢22.7歳)
- ⑦ なんとなく (13人, 平均年齢24.1歳)
- ⑧ 寂しさ (12人, 平均年齢24.8歳)
- ⑨ **結婚の意識** (10人, 平均年齢25.3歳)
- ⑨ **焦り** (10人, 平均年齢23.0歳)
- ⑪ 勢い (9人, 平均年齢22.6歳)
- ⑫ **親からの圧力** (6人, 平均年齢23.8歳)



**周囲との関わりや、結婚規範が強く影響している。**

### 3. 恋活・婚活ツール利用前の周囲との会話 (交際相手あり・なし比較)

	交際相手あり	交際相手なし
よく話していた	25%	15%
たまに話していた	39%	33%
あまり話していなかった	17%	23%
全く話していなかった	11%	17%
覚えていない	8%	12%

Summary of conversation frequency with friends before using dating/marriage tools:

- For those with a current partner: 64% (25% + 39%) talked frequently or occasionally, while 28% (17% + 11%) did not talk frequently or at all.
- For those without a current partner: 47% (15% + 33%) talked frequently or occasionally, while 40% (23% + 17%) did not talk frequently or at all.

### 3. 恋活・婚活ツール利用前の周囲との会話 (交際相手あり)

	全体	紹介	アプリ	婚活 サイト	相談所	街コン	婚活パー ティー	合コン	相席屋
よく話していた	25%	52%	47%	20%	12%	13%	12%	22%	12%
たまに話していた	39%	47%	42%	14%	9%	11%	5%	13%	3%
あまり 話していなかった	17%	56%	29%	7%	5%	7%	0%	27%	0%
全く 話していなかった	11%	22%	56%	0%	0%	15%	4%	22%	0%
覚えていない	8%	37%	21%	11%	5%	0%	0%	16%	0%

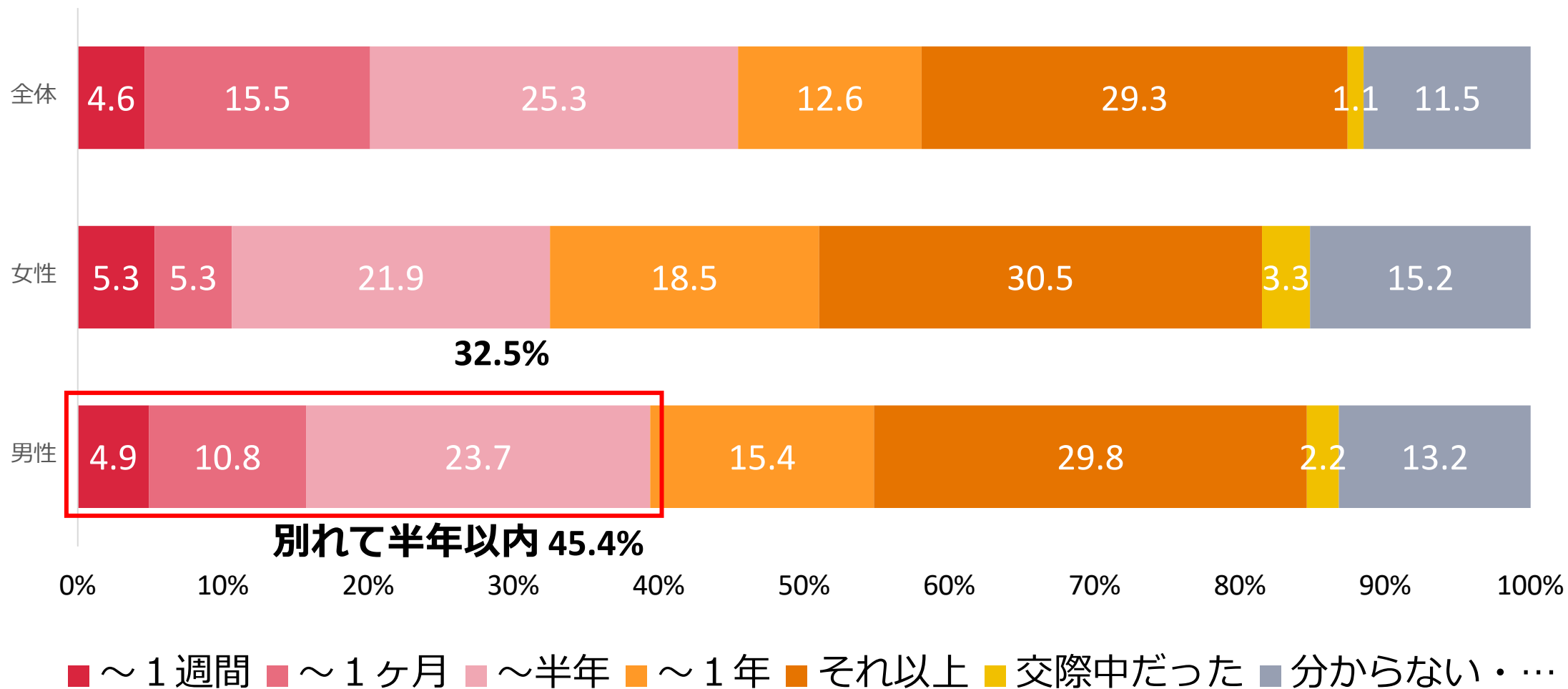
### 3. 恋活・婚活ツール利用前の周囲との会話 (交際相手なし)

	全体	紹介	アプリ	婚活 サイト	相談所	街コン	婚活パー ティー	合コン	相席屋
よく話していた	15%	36%	57%	14%	18%	25%	18%	32%	7%
たまに話していた	33%	40%	51%	21%	14%	16%	19%	24%	3%
あまり 話していなかった	23%	36%	44%	7%	11%	9%	7%	16%	0%
全く 話していなかった	17%	42%	42%	3%	9%	9%	9%	12%	0%
覚えていない	12%	38%	58%	0%	0%	4%	0%	17%	0%



## 4. 男女差

(初めての恋活・婚活直前のフリー期間 (n=430) )



## 5-1. 合っていたツール (n.336 \*複数回答あり)

① アプリ(135)	<b>利便性</b> 、価値観・趣味の一致、コミュニケーションの容易さ、情報の充実、目的の一致、人目の回避
② 紹介 (129)	安心・信頼、 <b>友人の助け</b> 、価値観・趣味の一致、目的の一致、情報の充実
③ 合コン(25)	<b>気軽さ</b> 、価値観・趣味の一致
④ 婚活サイト(14)	価値観・趣味の一致、 <b>スピード</b>
⑤ 相談所(11)	<b>担当者の助け</b> 、効率性の高さ
⑤ 街コン(11)	確実な出会い、 <b>約束された対面コミュニケーション</b>
⑥ 婚活パーティー(11)	<b>会話の促進</b> 、約束された対面コミュニケーション

## 5-2. 合わなかったツール (n.186 \*複数回答あり)

① アプリ(48)	コミュニケーションの困難性、 <b>面倒臭さ</b> 、 <b>不信感</b> 、目的の不一致、 <b>マッチングの困難性</b> 、情報の不足、 <b>対面コミュニケーションの不足</b>
② 紹介(28)	<b>紹介者への気遣い</b> 、発展性のなさ、性格の不一致、 <b>対象相手の限定性</b>
③ 合コン(26)	<b>周囲への気遣い</b> 、 <b>好意対象の不在</b> 、コミュニケーションの困難性
④ 街コン(23)	雰囲気、 <b>参加人数の過多</b> 、好意対象の不在、コミュニケーションの困難性
⑤ 婚活パーティー (13)	<b>参加人数の過多</b> 、負担の大きさ、コミュニケーションの困難性
⑥ 結婚相談所 (12)	発展性のなさ、マッチングの困難性、 <b>手軽さの欠如</b> 、 <b>費用負担の大きさ</b>
⑦ 相席屋 (11)	<b>目的の不一致</b> 、コミュニケーションの困難性、好意対象の不在
⑧ 婚活サイト(6)	発展性のなさ、 <b>好意対象の不在</b>



## 5-2. 合わなかったツール（コミュニケーションに関して）

① アプリ	<ul style="list-style-type: none"><li>• どういった話の入り方をすれば良いのかわからなかった</li><li>• なかなか会話が續かない事が多かった</li></ul>
② 紹介	<ul style="list-style-type: none"><li>• 相手が無口でこちらが一方的に話してるだけで会話のキャッチボールができない</li><li>• 恥ずかしがり屋でそれが脱却できなかつたから</li></ul>
③ 合コン	<ul style="list-style-type: none"><li>• 話術が要るし、その場のノリで空気が変わってくるので相手の性格や本心がよくわからない</li></ul>
④ 街コン	<ul style="list-style-type: none"><li>• 自分から話かけれないので色々苦労した</li><li>• 相手が最初から値踏みしている感じが嫌だった</li></ul>
⑤ 婚活パーティー	<ul style="list-style-type: none"><li>• 数分で自分をプレゼンする力と顔がない</li><li>• 短い時間で初対面で何を話せばいいのかわからなかった</li></ul>
⑥ 結婚相談所	<ul style="list-style-type: none"><li>• 話がはずまなかつた</li></ul>
⑦ 相席屋	<ul style="list-style-type: none"><li>• チャライ人が多く、自分とは性格が違ふ人ばかりが生息していた</li></ul>

# まとめ

---

1. 自分の置かれた環境や年齢に合ったツールを選択している。
2. 友人や親とのコミュニケーションによって恋活・婚活の意欲に変化が見られる＋周囲の人との対話によって恋活・婚活の成功率が変わるかもしれない。
3. あると考えられる。ツールによって生じるコミュニケーションの弊害に変化が見られるため、自身の性格などに合わせて選択する必要がある。

# 参考文献

- Yamada. M. (2017) Decline of real love and rise of virtual love: Love in Asia. *International Journal of Japanese Society* 26, pp.6-12.
- 国立社会保障・人口問題研究所 (2022). 「第16回出生動向基本調査」
- 谷本奈穂 (2008). 『恋愛の社会学—「遊び」とロマンティック・ラブの変容』 青弓社.
- テクテク株式会社 (2019). 「LoveTechMedia」 『出会い支援サービス カカオマップ2019』
- 友池梨紗 (2021). 「恋愛コミュニケーションプロセスに関する日本の研究—現代日本人男女はどのようにして交際相手と出会い、『付き合い関係』を構築するのか」 西南学院大学大学院博士論文
- 内閣府 (2019). 「少子化社会対策に関する意識調査」
- 内閣府 (2022). 「男女共同参画白書 令和4年版」
- 内閣府男女共同参画局 (2022) 「令和3年度 人生100年時代における結婚・仕事・収入に関する調査報告書」
- 西村智 (2014). 「未婚者の恋愛行動分析—なぜ適当な相手にめぐり会わないのか」 『経済学論究』 68, 493-515.
- 明治安田生命 (2022). 「『いい夫婦の日』に関するアンケート」
- リクルートブライダル総研 (2017). 「『自然な出会い』は本当に幸せになれるのか—恋愛困難時代を乗り越える『自律的出会い』の提言—」